



2011.8.5

No. 211

MONTHLY

# れんごう

北海道

<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費を含む)  
1996年3月4日第三種郵便物許可

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会 発行責任者 村田 仁  
〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほくろウビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

## 連合北海道2012年度政府予算に関する 「要求と提言」中央要請行動

連合北海道は7月27日、2012年度政府予算に関する「要求と提言」中央要請行動を行った。「要求と提言」については、今年度の政策委員会の中で議論され、産別アンケートなどを基に修正を加え、93項目からなり、その中で特に重要性・緊急性が高いもの20項目を重点要望と設定した。前段に連合北海道国会議員団会議を開催し、意見交換を行った後、工藤会長代行をはじめとする連合北海道7名と北海道季節労働組合の佐藤副事務局長の8名は、重点的な要請が必要な国土交通省、厚生労働省、経済産業省を訪問し、特に国土交通省と厚生労働省では政務三役と意見交換を行った。

### 三井副大臣へ通年雇用化に向け 「冬季増嵩経費」の措置を要請

#### ■国土交通省

国土交通省では冒頭、工藤会長代行から三井副大臣に要望書を提出し、坪田総合政策局長から、①地域生活基盤を守る公共交通の確保、②鉄道事業の経営安定に向けた支援策などの重点要望について説明を行った。

また道季労の佐藤副事務局長は「北海道の季節労働者は現在約9万人。建設業、農業・漁業はなかなか通年雇用に向かないというのが実態。制度自体、通年雇用に向けた対策ということになってはいるが、季節労働者対策になっていない。通年雇用については内容をもう一度精査

して頂き、我々と十分に協議して頂きたい」と訴えた。

その後、国土交通省各担当から「季節労働の関係では、667億円のゼロ国債など、増嵩経費の措置を含め、冬季施工の活用を進めている」「JR三島の特例については、優先順位を高くして頑張りたいと考えており、今後とも連合の皆さまの御助力をお願いしたい」と、重点要望に関する説明があった。また、三井副大臣は「予算の厳しい中、通年雇用については随分改善されてきているとは思いますが、北海道の状況を考えると厳しいことは承知している。また、北海道新幹線については、特に力を入れ、北海道、札幌市とも連携して進めたい」と述べた。

### 「雇用交付金」の継続を小林政務官に要請

#### ■厚生労働省

厚生労働省では山崎衆議に同行頂き、小林政務官に要望書を提出した。坪田局長からは重点要望である、①雇用交付金の拡充と延長、②自立した生活を確保するための最低賃金の引き上げ、③医療提供体制と地域医療の確保について説明を行った。

道季労佐藤副事務局長は「特例一時金の50日復活は自公政権の時に30日に減らされ、特例として40日となっている。季節労働者は12月に離職をして、次に仕事に就くのが4月。40日ではその1/3という状況であり大変厳しい。せめて50日に復活して頂きたい」と述べた。

小林政務官は「高齢化社会・少子化社会が進む中で、国を動かす財源をどのように考えるのか、これが一番の問題であり、社会保障と税の一体改革についての検討が進んでいるところ。自民党から政権を引き継いでみると、「日本にはこんなにも金が無かったのか」というのが正直なところであり、財源の裏付けも政府としては重要。民主党政権になって、重点分野雇用創造事業を始めており、これは24年度も継続して行っていく。そういうものを活用して頂きたい。その他、各自治体からも雇用交付金の拡充・延長については話を伺っており、今後、検討を



検討をさせて頂く。季節労働者対策については、労働政策審議会で30日という話が出てきてしまっており、50日に戻すということが難しい環境にあることも事実。通年雇用で一年中働けるということが本来あるべき姿であり、そういった施策を進めたいと考えている。最低賃金について、この800円、1,000円というお話は、野党時代に細川大臣が座長、私が事務局長として作り上げた考え方であり、大変重く考えている。しかし、経営側を含め、色々な方々の話を聞きながら、日本全体が良くなることを考える必要もあり、今年については震災などもあり、そういった中で今回は、1円でもいいから上げよう、という方向で収まったと聞いている。医療についてはとにかく医師数を増やすことが必要であり、入学定員も今は9,000名近くということで過去最高になっている。北海道でも平成23年度は344名ということで、以前に比べると44名ほどプラスとなっている。また、奨学金で恩恵が受けられる、そういった政策も今後すすめ、少しでも医師や看護師を増やしていく。看護職員の方も、離職・退職される方が多いと聞いている。子育てしながら働ける環境を整えるための施策も連合から頂いており、ぜひとも取り組んでまいりたい。また、不採算地域の経営安定についても、診療報酬の改定など、皆さんの要望を受けながら論議を行って行きたい」と回答があった。

## 北海道の状況について率直な意見交換

### ■連合北海道国会議員団会議

3省要請行動の前段には連合北海道国会議員団会議が行われた。

冒頭、連合北海道国会議員団会長の荒井衆議は「国会では政局的にも様々な動きがあるが国民に責任を持って

震災、あるいは原発の対応を行わなければならない。今、日本がどちらに向かって動いて行くのか、ということは世界も注目している。そういう意味では、このタイミングで連合北海道の方々と様々な意見交換が出来るのはありがたいことだ」と述べた。

工藤会長代行は「民主党の立ち上げから2大政党の実現、そして政権交代希求から政権交代まで、各級選挙で生活者、勤労者のために政策提言を行ってきた。今日、政権交代が実現し、その中で前政権の負の遺産や衆参がねじれているという状況は認識しているが、応援団とするひたすら耐えて見守っているというのが現状である。脱官僚、事業精査、高校の実質無償化など一定の成果はみており、前政権より法案の成立も60%超であると聞いている。しかし現状は目を覆うばかりの惨状と言わざるを得ない。今後は被災地、国民、道民、そして働く人々の期待に応える国会論議をぜひともお願いしたい。今回は次年度予算に関する要求と提言と言うことで、連合北海道として道民、勤労者の福祉、生活の向上、そして地域の生活者の基盤をどのように固めるかということを要請させて頂くが、道内は経済的にも雇用的にも大変厳しい状況がもう10年以上も続いている。今後、3省にお伺いし、またその他の省庁にも要望書を提出するところであり、国会議員の皆さまには今後もそのフォローをお願いしたい」と述べた。

その後、参加した荒井衆議、佐々木衆議、山崎衆議、工藤衆議、相原参議、徳永参議をはじめ、代理出席の秘書の方々と意見交換を行った。

〈この記事のアドレス〉 [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2011072701\\_12sei-fuyosei.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2011072701_12sei-fuyosei.html)

## 第2期ユニオンスクール渡島・第2回学習会開催

### 「チームビルドで学ぶ組織運営」など学習

新任役員の質的強化と、今後の組合役員の人材育成を主たる目的とした「第2期ユニオンスクール渡島・第2回学習会」が7月9日(土)13時より、道南労働福祉会館5階会議室において行われた。

連合北海道組織対策局・皆川次長、更には、今回の臨時トレーナーとしてUIゼンセン同盟北海道支部・衛藤常任委員が特別参加し、受講生10名による学習会がスター

トした。

前回の学習会で要望のあった「労働組合としての経営状況把握」では、皆川次長が担当し、労働組合が経営状況をしっかりと把握する必要性について提起すると共に、貸借対照表や損益計算表の見方について学び合い、労使間における事前協議制の重要性についての認識を一致させた。

衛藤臨時トレーナーは「チームビルドで学ぶ組織運営」と題したゲーム感覚での学習を担当。目隠した無言の「ロボット」を如何に指示通り動かし、目的を達成するかの単純に見える行動を2組に分かれて実施。

ところが、始めてみれば悪戦苦闘の連続。指示する側の適切さと支持される側の感覚が一致しないと、受け止めの違いで思うように進めることも出来ず、与えられた道具を如何に適切にコントロールさせるかが重要なポイ



ント。

「少し右!」「ちょっとだけ後ろ!」「もう少し上!」・・・何気ない日常使う言葉も如何に適切さを欠いているのか・・・何センチ右で、どの程度後ろで、何センチ上なのか。目の見えない無言のロボットを使いこなすのに、相当の時間を要したり、適切な言葉を探すので頭を悩めたり、黙っていても汗ばむ気候の中での作業で、参加者(受講生)は汗だく。

日常生活の中でも、指示の出し方や言い方によっては、受け止めの違いがあったり、お互いの感覚に差異が生じたり、《異口同音》に近い出来事は比較的身近な問題でもあるのではないかと認識を持ちあうことができた。

慣れると慣れる程、指示の出し方が雑になったり、指示を出す側の自己満足に陥ったりする傾向は、様々な活動においても見られることであり、指示の出し方一つで運動の方向性が左右されたりする危険を孕んでいることについて、私たちも再認識させられた学習会であった。

予定されていた4時間は「あっ」という間に経過し、1時間近くの間時間延長で無事第2回目の学習会を終えること



が出来たが、参加者の顔は多少疲れ気味ではあったが、満足度の高い学習内容に満足していたように思われる。

今回は、いよいよ閉校式(第3回学習会)。前回好評であった「模擬団体交渉」を企画中。

連合四役の「経営側」に対して、受講生による「労働組合」が如何に要求を前進させるかの真剣勝負を予定している。

〈この記事のアドレス〉 [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2011070901\\_oshima\\_study.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2011070901_oshima_study.html)

## 再発防止の徹底を求めJR北海道に要請

### 労使間議論で一日も早い信頼回復を

5月27日の石勝線トンネルにおける特急列車の脱線炎上事故以来、相次いで事故やトラブルが発生したことから、連合北海道は7月8日、JR北海道に対して事故原因の究明と再発防止の徹底を求める要請行動を行った。

要請には工藤会長代行を筆頭に村田事務局長、坪田総合政策局長が本社を訪れ、対応した鉄道事業本部長の一 條昌幸専務に対して要請書を手交。工藤会長代行からは、「安全は与えられるものではない。その努力を惜しまない企業が社会から評価を受け



る」とし、徹底した取り組みを求めた。

国交省から受けた「事業改善命令」に関して村田事務局長は、「9月17日の報告期限を待つことなく、具体的に講じた改善策をホームページに掲載するなど、再発防止にむけて取り組む姿勢を道民に示して」と要望。また、「闊達に現場の状況が上部にあがるようにし、全体が萎縮しないことが重要」との指摘に対して、一 條専務は、「会社が一方的に作るのではなく、社員の意見を受け止めて改善策のベースを作りたい」とした。

最後に、村田事務局長から「ぜひ労使間でしっかり議論し、一日も早く信頼を回復して欲しい」と述べて要請行動を終えた。

〈この記事のアドレス〉 [http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2011070801\\_jr.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2011070801_jr.html)

## 鉄道事故原因の究明と再発防止の徹底を求める要請書

5月27日、ほぼ満員の乗客を乗せた特急列車「スーパーおおぞら」が、占冠村のJR石勝線第1ニニウトンネル内で脱線炎上し、39人の乗客が軽傷を負う事故が発生しました。しかし、その後もエンジントラブルや信号系統の不具合等が連続して発生し利用者には不安と混乱をもたらし、JR北海道に対する道民の信用・信頼が大きく損なわれる結果となりました。

6月18日に国土交通省から事業改善命令を受け、事故の再発防止と鉄道の安全・安定輸送にむけて、全社一丸となり利用者の信頼回復に取り組むことが示

されました。

しかし7月5日、またしても特急列車の「補機駆動軸の脱落」というトラブルが発生しました。

乗客の生命と道民の足を預かる公共交通機関として、「輸送の安全は、経済性、定時制、快適性等のどの品質要素よりも優先されるべきもの」であることを深く認識し、その上でJR北海道は、再び道民と利用者の信頼を回復するよう、事故原因の究明と全社一丸となった再発防止の取り組みを徹底するよう求めます。

# 東日本大震災支援ゴルフコンペ開催 カンパ全額を義援金へ

恒例の連合北海道ゴルフコンペ（第21回）が、7月2日、北広島市のクラークカントリークラブで開催された。

スタート時はガスがかかり天候に不安もあったが、徐々に天候も回復し、それにつれて参加者のスコアも・・・とりあえず、ケガ、熱中症なども無く、67名全



員が無事にホールアウトした。

昨年の連合北海道結成20周年を記念したチャリティーコンペに引き続き、今年は3月に発生した東日

本大震災支援コンペとして実施し、ラウンド終了後、多くの方から善意のカンパが寄せられ、全額「義援金カンパ口座」に入金した。

また、ゴルフコンペ実施にあたり、多くの産別・福祉事業団体、企業等々から景品の提供いただいたことに、改めてお礼を申し上げます。

優勝	榎本 一夫氏 (JR総連) (NET70.8)
準優勝	竹本 和宏氏 (情報総連) (NET72.0)
ベストグロス	松澤 雅広氏 (北海道労働金庫) (GROSS83)
<b>カンパ金総額 86,400円</b>	

〈この記事のアドレス〉[http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2011070201\\_golf.html](http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2011070201_golf.html)



## 8月の主な動き

- 平和行動in広島・長崎  
4日(木)～9日
- 2012年度道予算要請  
10日(水) 15:00/道庁
- 第3回男女平等参画推進委員会  
22日(月) 16:00/連合北海道会議室
- 第11回執行委員会  
24日(水) 10:30/連合北海道会議室
- 第9回地協事務局長会議  
24日(水) 13:30/連合北海道会議室
- 2011年度高齢者の集い  
24日(水) 13:30/芸術文化の館

### お盆休みのお知らせ

8月15日、16日は、お盆休みとして事務所を閉めさせていただきます。

## 毎回大好評の組合員特別優待クーポン誌



### 夏休み版

好評配布中!

道内のアミューズメント、またホテルなどが特別価格で利用できます。これからの行楽シーズンにぜひお役立てください。



<http://www.crews.ne.jp/rengo-natsu2011/index11natsu.html>

## 日本労働組合総連合会

連合が提起する  
**「働くことを軸とする安心社会」**  
ってどういうこと?!

人は働くことで人とつながり、社会に参加できる。その実感が日本に安心と活力を与えます。連合は、働くことに最も重要な価値を置く社会をめざしています。

連合会長 古賀 伸明

マンガの続きは、連合ホームページで!

<http://www.jtuc-rengo.or.jp>

## 「今こそみんなで声をあげよう!」

1 モーレック企業教士の時代があり...

2 パールの後は、勝ち組負け組なんて言われがち生まれ... 過去の遺物

3 今や100人のうち5人が失業、仕事があっても非正規雇用... 正社員と同等の待遇を求めたい

4 労組組合が声を結集して物申します